

公開講座

〈平成30年度実施〉

講座名	内 容	開催時期	参加者数	担当の学部
鳥海山麓からにかほ市沿岸部における自然災害の歴史と自然の恵み (全2回)	鳥海山の麓に広がる秋田県にかほ市にスポットを当て、過去に起こった地震や津波などの自然災害の歴史や、湧水を初めとした豊かな自然について解説を行った。	平成30年 8月8日(水) ～22日(水)	32	地方創生センター
身のまわりのエレクトロニクスを学び直す (全5回)	私たちの身のまわりにあるスマートフォンや電気自動車といった電気電子技術(エレクトロニクス)を使った製品やサービスを例に挙げながら、発電・モーター・自動車・音などエレクトロニクスの基礎的な分野における最近の応用例について解説を行った。	平成30年 8月21日(火) ～9月18日(火)	18	理工学部
秋田大学市民講演会 ～これから科学者を目指す君たちへ～ (全3回)	生命科学分野において第一線で活躍する著名な研究者を講師に招き、これから科学者を目指す若者に対して熱いメッセージを発信してもらうことで次代の育成につなげることを目的としたもので、日本における生命科学分野の最先端研究等についての知識を深める場を提供した。	平成30年 9月1日(土)	153	理工学部
阿仁鉱山の歴史と史跡を訪ねて (全2回)	秋田で最も繁栄した鉱山の一つである阿仁鉱山の歴史の解説や史跡の見学を通じて、古くから鉱山藩・県であったことから由来する秋田の社会と全国および世界との繋がりについて理解を深める機会を提供した。	平成30年 9月28日(金) ～29日(土)	32	国際資源学部
共に生きる社会をめざして ～障害の理解と支援～ (全5回)	障害のある人もない人も共に生きられる社会をめざすノーマライゼーションやインクルージョンの理念が現代社会において浸透する中、障害についての理解を深め、本人だけでなく家族も含め、さらには幼児・児童期から青年期に渡る長期的な視点に立ち、支援のあり方と方向性について解説を行い、共に考える機会を提供した。	平成30年 10月5日(金) ～11月2日(金)	13	教育文化学部
援助職のためのセルフケア支援講座 (全2回)	医療や介護職など他者のケアやサポートを生業とする仕事においては、疾病や障がいなどの理解に加えて相手とのコミュニケーションが求められるが、さまざまな理由でうまくいかない場合にケアを提供する側の感情が傷つき心身の不調に繋がったり相手への暴力や虐待に繋がってしまう場合がある。こうしたことを予防するため感情とのつきあい方やストレス対処法を学びセルフケア能力を高めるための講座を開講した。	平成30年 11月2日(金) ～9日(金)	26	医学部
今日から始める！骨粗鬆症と転倒予防 ～その原因と効果的な生活・体操～ (全3回)	単なる「骨の老化現象」ではなく、予防・治療が必要な「疾患」である骨粗鬆症についてその原因や対策について解説を行い、転倒予防にも資する効果的な姿勢や体操について実践指導を行った。	平成30年 11月8日(木) ～22日(木)	23	医学部
秋田と日本の未来を創る理工学部の研究紹介 (全3回)	今年度理工学部新たに誕生した革新材料研究センターに所属する教員による先進的な研究を中心に紹介するもので、我が国の未来を担う高校生などの若年層にも受講しやすいよう受講料無料の市民講座として開催した。	平成30年 11月24日(土)	44	地方創生センター
世界の未来を拓く国際資源学 (全3回)	国際資源学に関係する社会科学・自然科学・工学のさまざまな最新研究の成果について、本学国際資源学部の資源対策コース・資源地球科学コース・資源開発環境コースの教員による解説を行うもので、我が国の未来を担う高校生などの若年層にも受講しやすいよう受講料無料の市民講座として開講した。	平成30年 11月25日(日)	35	地方創生センター
サイコジカル・カフェ (全5回)	秋田大学大学院教育学研究科心理教育実践専攻を担当する専任教員全員による専門領域別のアラカルトメニューカフェ。最新の心理学の知見を交えながら、こころの不思議や健康について、カフェでおしゃべりする感覚で解説を行った。	平成30年 12月4日(火) ～19日(水)	9	教育文化学部
秋田県の健康寿命延伸を目指して！ ～高齢者にやさしい地域づくり～ (全5回)	今年度始動した秋田大学高齢者医療先端研究センターにおける健康寿命延伸のための取組みや、秋田県内で行われている高齢者にやさしい地域づくりに関する取組みを中心に紹介するもので、幅広い世代の方々へ知っていただくために受講料無料の市民講座として開講した。	平成30年 12月16日(日)	147	地方創生センター

令和元年度開催予定の公開講座は で検索できます。